

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日  
Date of Application: 2002年10月21日

出願番号  
Application Number: 特願2002-305900  
[ST. 10/C]: [JP 2002-305900]

出願人  
Applicant(s): 松下電器産業株式会社

2003年 9月24日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今井康夫

出証番号 出証特2003-3078171



【書類名】 特許願

【整理番号】 2902240080

【提出日】 平成14年10月21日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 3/00

【発明者】

    【住所又は居所】 神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目 3 番 1 号 松下通信  
工業株式会社内

    【氏名】 櫻井 一也

【発明者】

    【住所又は居所】 神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目 3 番 1 号 松下通信  
工業株式会社内

    【氏名】 小石 崇雄

【特許出願人】

    【識別番号】 000005821

    【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100105647

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 小栗 昌平

    【電話番号】 03-5561-3990

【選任した代理人】

    【識別番号】 100105474

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 本多 弘徳

    【電話番号】 03-5561-3990

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100108589

【弁理士】

【氏名又は名称】 市川 利光

【電話番号】 03-5561-3990

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100115107

【弁理士】

【氏名又は名称】 高松 猛

【電話番号】 03-5561-3990

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100090343

【弁理士】

【氏名又は名称】 栗宇 百合子

【電話番号】 03-5561-3990

## 【手数料の表示】

【予納台帳番号】 092740

【納付金額】 21,000円

## 【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0002926

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 電子機器

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 階層構造をなす複数のメニューを階層順に表示する表示手段と、

前記表示手段に表示するメニューを切り換えるためのメニュー表示切換手段と

、  
前記表示手段に表示中のメニューの実行を指示するための実行指示手段と、

前記表示手段に表示中のメニューを直接実行メニューに設定するための直接実行メニュー設定手段と、

前記直接実行メニューに設定されたメニューの実行を指示する直接実行指示手段と、

を備えたことを特徴とする電子機器。

【請求項 2】 前記直接実行メニューの設定変更をパスワードによって規制する設定変更防止手段を備えたことを特徴とする請求項 1 記載の電子機器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、階層構造をなす複数のメニューを階層順に表示する機能を備えた電子機器に関し、特に任意の階層のメニューを直接実行可能な電子機器に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、CCTV (Closed Circuit Television) 機器等の電子機器は、機能をメニュー表示する表示部を備え、表示されたメニューの中から所望のメニューを選択して実行指示できるようになっている。しかし、電子機器が備える機能の多様化に伴い、表示部に表示するメニューの数も増大し、その表示および選択、実行指示が困難になった。そこで、表示部の面積に対してメニューの数があまりに多い場合には、メニューを階層化し、階層順に表示部に表示する方法が用いられてきた。

**【 0 0 0 3 】****【特許文献 1】**

特開 2 0 0 0 - 1 0 7 0 2 号公報

**【 0 0 0 4 】****【発明が解決しようとする課題】**

しかしながら、従来の電子機器におけるメニュー表示方法では、上位階層から順次下位階層のメニューを表示させていき、目的のメニューが表示されて初めてそのメニューの実行を指示することができるため、メニュー表示の初期状態から目的のメニューの実行を指示するまでに手間と時間がかかるという問題点があった。

**【 0 0 0 5 】**

本発明は、上記従来の問題点に鑑みてなされたものであって、階層構造をなす複数のメニューの中から任意の階層のメニューを直接実行可能な電子機器を提供することを目的としている。

**【 0 0 0 6 】****【課題を解決するための手段】**

上記目的を解決するために、本発明に係る電子機器は、階層構造をなす複数のメニューを階層順に表示する表示手段と、前記表示手段に表示するメニューを切り換えるためのメニュー表示切換手段と、前記表示手段に表示中のメニューの実行を指示するための実行指示手段と、前記表示手段に表示中のメニューを直接実行メニューに設定するための直接実行メニュー設定手段と、前記直接実行メニューに設定されたメニューの実行を指示する直接実行指示手段とを備えている。

**【 0 0 0 7 】**

このように、表示手段に表示中のメニューは直接実行メニュー設定手段によって直接実行メニューに設定することができ、階層構造をなす複数のメニューの中から任意の階層のメニューを直接実行することができるため、メニュー表示の初期状態から目的のメニューの実行を指示するまでの手間と時間を大幅に削減できる。

**【 0 0 0 8 】**

また、本発明に係る電子機器は、前記直接実行メニューの設定変更をパスワードによって規制する設定変更防止手段を備えている。したがって、直接実行メニューの設定を他者が勝手に変更できないようにして、直接実行メニューの設定が他人によって勝手に変更されてしまうのを防止することができる。

#### 【0009】

##### 【発明の実施の形態】

以下、本発明に係る電子機器の実施の形態について、図面を参照して詳細に説明する。

#### 【0010】

図1は、本発明に係る電子機器の一実施形態を示す平面図である。同図に示すように、CCTV (Closed Circuit Television) 機器等の電子機器10は、特許請求の範囲の表示手段に該当する液晶表示部20と、メニュー表示切換手段に該当するディレクション (方向) ボタン31～34と、実行指示手段に該当する実行指示ボタン40と、直接実行メニュー設定手段および設定変更防止手段に該当する設定ボタン50と、直接実行指示手段に該当する直接実行指示ボタン61～64と、「0」～「9」の設定変更防止手段に該当する数字ボタン70とを備えて構成されている。

#### 【0011】

以下、本実施形態の電子機器が有する各構成要素について説明する。

液晶表示部20は、電子機器10が有する機能のメニューを表示するための表示手段であり、階層構造をなす複数のメニューが階層順に表示される。また、ディレクションボタン31～34は、液晶表示部20に表示するメニューを切り換えるための操作子である。ディレクションボタン31～34を操作すると、液晶表示部20に表示されるメニューが階層順 (昇順または降順) に切り換わる。また、実行指示ボタン40は、メニューの実行を指示するための操作子である。実行指示ボタン40を押すと、その時液晶表示部20に表示されているメニューの実行指示がなされる。

#### 【0012】

また、設定ボタン50は、液晶表示部20に表示中のメニューを直接実行メニ

ユーに設定するための操作子である。また、直接実行指示ボタン 61～64 は、直接実行メニューに設定されたメニューの実行を指示するための操作子である。本実施形態では、直接実行指示ボタン 61～64 のいずれかと設定ボタン 50 とを同時に押すと、その時液晶表示部 20 に表示されているメニューが直接実行メニューに設定されると共に、その直接実行メニューが設定ボタン 50 と同時に押された直接実行指示ボタンに割り当てられる。なお、直接実行指示ボタン 61～64 には、各々任意の直接実行メニューを割り当てることが可能である。

#### 【0013】

また、数字ボタン 70 は、任意の数値または記号を入力するための操作子である。本実施形態では、数字ボタン 70 により所定桁数の任意の数値を入力した後、設定ボタン 50 を押すと、その数値がパスワード（暗証番号）として設定されるようになっている。パスワードを設定した後は、正しいパスワードを入力しなければ直接実行メニューの設定を変更できない。

#### 【0014】

次に、本実施形態の電子機器 10 の動作について説明する。

電子機器 10 を起動すると、液晶表示部 20 に最上位階層のメニューが表示される。電子機器 10 のいずれかの機能を使用したい場合、使用者は、ディレクションボタン 31～34 を操作することによって、液晶表示部 20 の表示を切り換えてゆき、目的のメニューを表示させる。そして、その状態で実行指示ボタン 40 を押す。これにより、目的のメニューの実行指示がなされる。

#### 【0015】

ここまでの動作は従来の電子機器と同様であり、特定のメニューを頻繁に使用する場合、その都度ディレクションボタン 31～34 を操作して当該メニューを表示させてから実行指示ボタン 40 を押していたのでは、メニュー表示の初期状態からメニューの実行を指示するまでに非常に手間と時間がかかってしまう。

#### 【0016】

そこで、特定のメニューを頻繁に使用する場合、本実施形態ではそのメニューを「直接実行メニュー」に設定しておく。直接実行メニューの設定は、液晶表示部 20 に目的のメニューを表示させた状態で、直接実行指示ボタン 61～64 の

いずれかと設定ボタン 50 とを同時に押すことによりなされる。そして、設定された直接実行メニューが、設定ボタン 50 と同時に押された直接実行指示ボタン 61、62、63 または 64 に割り当てられる。

#### 【0017】

直接実行メニューに設定されたメニューは、それが割り当てられている直接実行指示ボタン 61、62、63 または 64 を押すことによって直接、すなわち、ディレクションボタン 31～34 を操作して当該メニューを探し出す操作を行うことなく、そのまま実行を指示することができる。したがって、メニュー表示の初期状態から目的のメニューの実行を指示するまでの手間と時間を従来よりも大幅に削減できる。

#### 【0018】

また、パスワードを設定しておくことにより、直接実行メニューの設定が他人によって勝手に変更されてしまうのを防止することができる。

#### 【0019】

#### 【発明の効果】

以上説明したように、本発明に係る電子機器によれば、階層構造をなす複数のメニューの中から任意の階層のメニューを直接実行することができるため、メニュー表示の初期状態から目的のメニューの実行を指示するまでの手間と時間を大幅に削減できる。

#### 【図面の簡単な説明】

#### 【図 1】

本発明に係る電子機器の一実施形態を示す平面図

#### 【符号の説明】

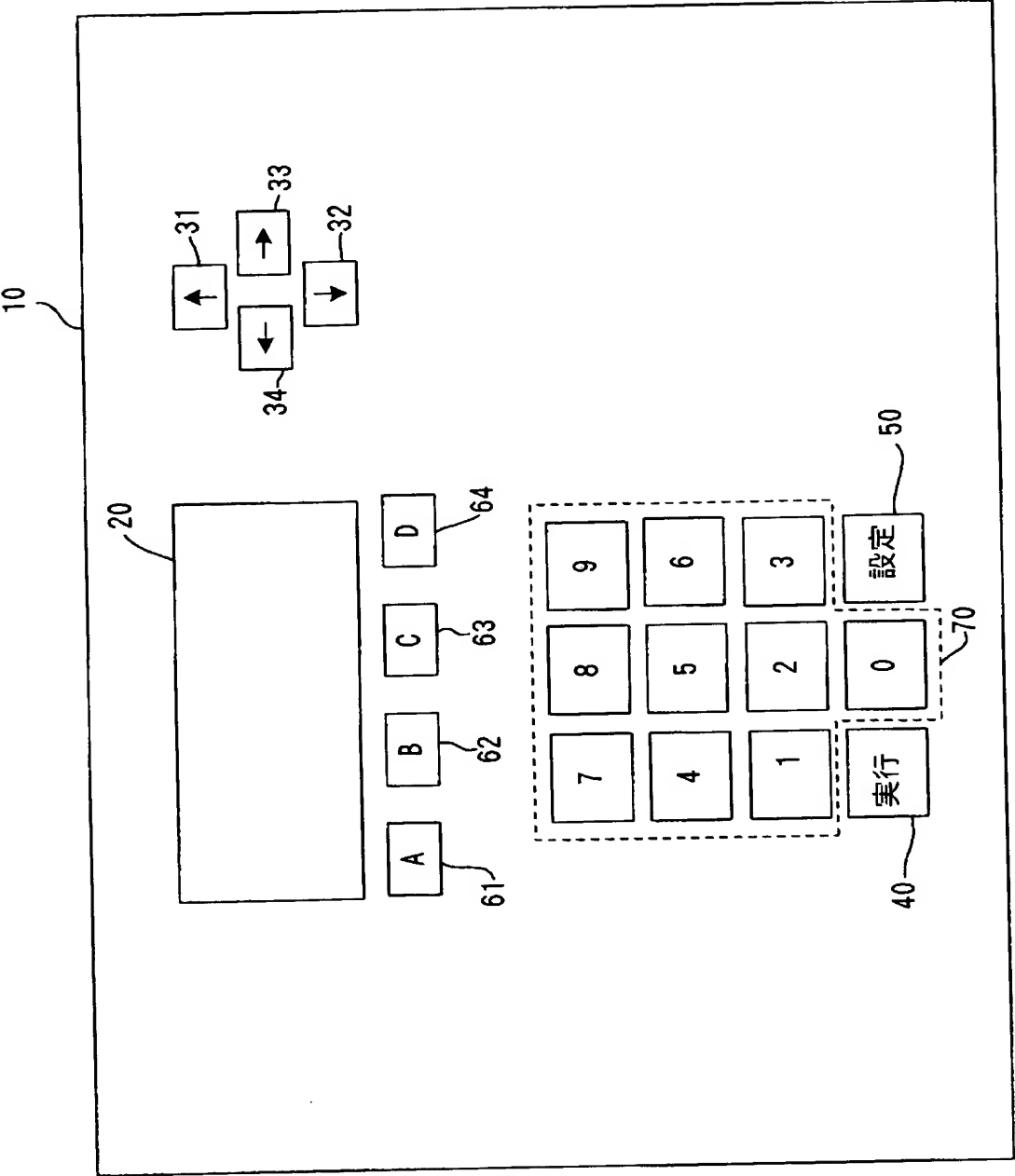
- 10 電子機器
- 20 液晶表示部
- 31～34 ディレクションボタン
- 40 実行指示ボタン
- 50 設定ボタン
- 61～64 直接実行指示ボタン



7 0 数字ボタン

【書類名】 図面

【図 1】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 階層構造をなす複数のメニューの中から任意の階層のメニューを直接実行可能な電子機器を提供すること。

【解決手段】 液晶表示部 20 には、階層構造をなす複数のメニューが階層順に表示される。液晶表示部 20 に表示されるメニューはディレクションボタン 31～34 によって切り換えられる。液晶表示部 20 に表示中のメニューは、実行指示ボタン 40 によって実行を指示することができると共に、設定ボタン 50 によって直接実行メニューに設定することができる。直接実行メニューはいずれかの直接実行指示ボタン 61、62、63 または 64 に割り当てられ、該当するボタン 61、62、63 または 64 を押すことによって直接、すなわち上位階層から順次下位階層のメニューを表示させて目的のメニューを探し出す操作を行うことなく、そのまま実行を指示することができる。

【選択図】 図 1

特願 2 0 0 2 - 3 0 5 9 0 0

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[ 0 0 0 0 0 5 8 2 1 ]

1 . 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 2 8 日

[変更理由]

新規登録

住 所

大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地

氏 名

松下電器産業株式会社